

## 平成27年度 第4回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

## 【事後評価】

NO.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	道路	一般国道9号東伯・中山道路 <small>とうほく なかやま</small>	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約730kmの主要幹線道路である。東伯・中山道路は、一般国道9号の混雑緩和、安全・円滑な交通の確保、災害時の緊急輸送道路の代替路としての機能を果たすとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する延長12.0kmの自動車専用道路である。	平成11年度～平成22年度	
2	道路	一般国道9号松江道路 <small>まつえ</small>	一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約730kmの主要幹線道路である。松江道路は、一般国道9号の渋滞緩和、安全性の向上、医療活動の支援、魅力ある都市空間の形成などの機能を果たすとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する延長13.7kmの道路である。	昭和47年度～平成22年度	
3	道路	一般国道180号岡山山西バイパス <small>おかやまにし</small>	一般国道180号は、岡山市を起点として、松江市へ至る延長約170kmの主要幹線道路である。岡山山西バイパスは、岡山市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長5.6kmの道路である。また、地域高規格道路「岡山環状道路」の一部を構成するものである。	昭和54年度～平成22年度	
4	港湾	呉港阿賀地区臨港道路整備事業 <small>くれこうあが</small>	呉港阿賀地区臨港道路は、阿賀地区と背後幹線道路網を連絡する臨港道路である。円滑な自動車交通網の確保により、物流の効率化、利便性・安全性の向上に寄与する臨港道路である。	平成15年度～平成22年度	
5	河川	江の川下流土地利用一体型水防災事業（川戸地区） <small>えのかわ</small>	江の川は、広島県北広島町阿佐山に源を発し、三次市で江の川上流と同規模の流域面積を持つ、馬洗川、西城川を合わせ、山間狭隘部を流れ下り、河口の江津市街地を貫流し日本海に注ぐ、流域面積3,900km <sup>2</sup> 、幹川流路延長194kmの中国地方最大の一級河川で、別名「中国太郎」の異名を持つ。 川戸地区は、江の川下流部に位置し、昭和47年7月洪水等で地区全体で浸水被害が発生した。また、近年（平成18年7月洪水等）においても浸水被害が発生している。 本地区は、地盤高が計画高水位よりも低く流下能力が不足しているため、堤防整備等が必要であるが、通常の堤防方式では整備後の背後地が僅かとなり住環境が悪化するとともに、膨大な費用と年数が必要となり、事業効果発現に時間を要することから、家屋の嵩上げ等を実施し、早期に治水安全度の向上を図るものである。	平成18年度～平成22年度	

## 【ダム等の管理に係るフォローアップ制度を活用した事業の報告】

NO.	事業種別	事業名	事業概要	事業年度	備考
1	ダム	志津見ダム建設事業 <small>しづみ</small>	志津見ダムは、斐伊川水系の治水計画のうち、上流部における治水対策として計画され、洪水調節、流水の正常な機能の維持、工業用水（最大10,000m <sup>3</sup> /日）の供給、発電（1,700kw）を行うことを目的として建設した多目的ダムである。 【重力式コンクリートダム、ダム高：81.0m、総貯水容量：50,600千m <sup>3</sup> 】	昭和58年度～平成23年度	